異文化・多様性理解プログラムについて

３～５年生を対象に、11 月～12 月にかけて異文化・多様性理解プログラム（全３回）を開催しました。異文化や多様性について学んだり、体験したりすることで、世界で活躍するリーダーとしての資質を育成することを目的としたものです。概要は次の通りです。

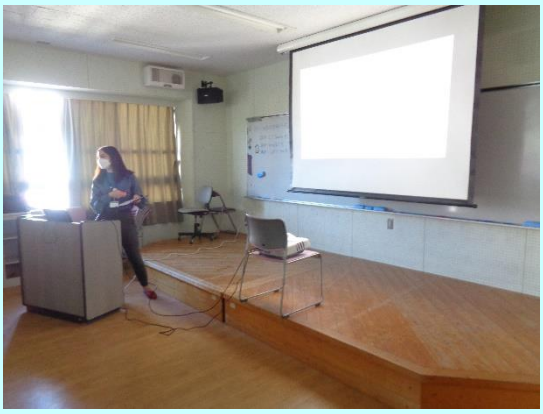
★第１回　11 月３日（木）　９時～12 時
　３人の講師をお招きして、お話を聞きました。

１　講師　T.T.Tanaka 氏（フォトグラファー、通訳案内士）
　T.T.Tanaka 氏は様々な国を訪れて写真を撮っていらっしゃいます。今回は、「ENCOUNTERS in everyday life; by photographer T. T. Tanaka---素晴らしい日常から学ぶこと----」というタイトルでお話しいただくとともに、人々が平和に暮らしていた頃のウクライナの写真をたくさん見せていただきました。生徒はウクライナの人々やその生活について学ぶとともに、平和について考えました。

２　講師　細田育代氏（通訳案内士）
　細田氏には、「Responding to an understanding of different cultures and diversity ~ What we expect Japanese High School students to think about ~」というタイトルで、ご自身の長い海外生活や国際交流の仕事を踏まえて、アメリカの生活や国際交流で大切な点についてお話しいただき、生徒は異なる文化をもつ人々を迎えたり交流したりするときに大切なことについて考えました。

３　講師　ジュギーデ・サウレ氏（平塚市文化・交流課　国際交流員）

サウレ氏は、「Life and culture in Lithuania」というタイトルで、クイズを交えながら、ご自身の母国であるリトアニアについて紹介をしてくださいました。また、グローバルメンタリティについてもお話しいただき、国際社会で生きる上で大切な態度について生徒は学びました。



★第２回　11 月 12 日（土）　９時～12 時

東海大学で学ぶ留学生との交流会を開催しました。アラブ首長国連邦、韓国、台湾、デンマーク、ドイツ、香港、マレーシア、ロシアから来た留学生を迎えて、グループに分かれて話をしたり、部活動見学をしたりしながら楽しい時間を共有しました。

１　チャットセッション

さまざまな国の人とグループに分かれて、自分の国の紹介や日本に来て驚いたこと、自分の国の人たちに余暇の過ごし方などについて話をしました。

２　部活動見学

グループに分かれて、この日に活動をしていた陸上部、科学部、弓道部を見学しました。

３　各国の習慣

留学生たちから日本と異なる習慣を紹介してもらいました。香港のレストランで最初に出されるコップの水やアラブ首長国連邦でのあいさつの仕方には、本校生徒だけでなく留学生も驚いた人が多くいました。

★第３回　12 月３日（土）　９時～12 時

第２回と同様に、東海大学で学ぶ留学生との交流会を開催しました。韓国、台湾、ドイツ、ノルウェー、マレーシア、ロシアなど第２回に参加してくれた留学生や新たに参加してくれた留学生、日本人学生と一緒にグループに分かれて話をし、その後、本校生徒が異文化理解に関するプレゼンテーションを行いました。

１　チャットセッション

さまざまな国の人とグループに分かれて、いろいろなトピックについて話をしました。各国のボディランゲージを紹介では、ロシアのお金の表し方が意外でした。

２　本校生徒によるプレゼンテーション

異文化理解に関する考えを、自分の経験や今回のプログラムで学んだことを踏まえて発表しました。多くの生徒が、文化的な背景が異なる人たちと交流する楽しさ、驚き、発見などについて話をしていました。

３　留学生からのアドバイス

留学生から、留学や語学の勉強に関するアドバイスをもらいました。留学は言語習得だけでなく、海外の友人がたくさんできる点がよいという話がありました。一方、目的をはっきりと持つことが大切だ、最初はうまくいかないことが多いので自分の心を上手にコントロールすることが重要だ、という話がありました。また、語学の勉強は、興味をもつこと、人と話す機会を積極的にもって自分が知っている語句や表現をどんどん使うこと、音楽やドラマなどを活用することなどが挙げられました。